

基本構想の位置づけ

基本構想は、我孫子市のまちづくりの最高指針であり、市がめざす将来のまちの姿を明らかにし、その実現に向けた行財政運営の目標と基本的方向を示すものです。

我孫子市が定めるさまざまな計画は、この基本構想に即して策定するものとします。

目標年次

この基本構想は、2002年（平成14年）度を初年度として、20年後の2021年（平成33年）度を目標とします。

I. 将来都市像

◆ 自然環境を文化に高めるまちへ

時代が変わっても、変わらない価値。それが我孫子の自然環境の広がりです。

春夏秋冬の美しい季節の移り変わりに、私たちは何度心を動かされたことでしょうか。その陰には自然の保全と再生につくした多くの先人たちの苦勞があります。歴史を引き継ぎ、環境モデル都市として、国内外の多くの人たちが訪れるよう努力することが新たな目標です。第一は我孫子のシンボルである手賀沼の水質浄化、水質改善ベスト1を実現します。鳥と共にくらし、“雁の飛来よ再び”の夢に挑戦します。それには自然に負荷のかからない資源循環型のくらしを築くとともに、環境問題に取り組む先進的な知恵を生み出すことが重要です。第二は、遊歩道、自然観察園、農業体験園などの交流空間づくりや国際的な水準を意識した湖岸・街並みの景観づくりを心がけます。

私たちは、自然と人の営みが文化になっていくまちをめざします。